様式第１－５号

提案者の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業名 |  | 代表者  役職・氏名 |  |
| 本社所在地 | 〒 | 連絡担当者  役職・氏名 |  |
| 福島県内事業所所在地 | 〒  *代表提案者のみ記載* | 連絡先 | 電話：*代表提案者のみ*  *記載*  E-mail: |
| 主な事業所とその所在都道府県名称 |  | 主な出資者  （出資比率） |  |
| 資本金 | 百万円 |
| 従業員数  （うち研究員数） | 人  　　（　　　　　　人） |
| 設立年月日 | 年　　月　　日 | 主な事業の  業種名 |  |
| 過去３年間における官公庁共同研究経験 |  | 主な製品・  サービス等 |  |
| 参加団体 |  | | |
| 過去３年間  参加研究会 |  | | |

財務状況（直近２期分の実績を記載） （単位：百万円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第　　期 | 第　　期 |
| 売上高  (当期収入合計額) |  |  |
| 経常利益  (当期収入合計額  -当期支出合計額) |  |  |
| 当期利益 |  |  |
| 減価償却費 |  |  |
| 繰越利益  (次期繰越し収支差額) |  |  |
| 研究開発費 |  |  |

***（注）提案者ごとに作成してください。***

以降は、該当する項目がある場合のみ、代表提案者が作成してください。

国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所との連携

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究所との連携内容 | （○で囲む）  １　共同研究（テーマ名）「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」  （研究内容がわかる書類を添付）  ２　１以外（技術支援等）    （研究所に求める技術支援の内容を記載）   |  | | --- | |  | |
| 研究所記入欄 | 本事業に採択された場合、可能な範囲で技術支援を行うことができると認められます。  　　　　　　令和　　年　月　日、　担当者署名 |

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する「新エネルギー等の

シーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」における社会課題解決に資する技術と

の合致（当てはまる分野に○をつけてください）

|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 技術開発内容の例 |
| A. 太陽光発電  利用促進分野 | 太陽光発電システムの付加価値向上及び市場の拡大に資する技術の開発/太陽光発電システムの安全性向上に資する技術の開発/太陽光発電システムを維持管理する技術の開発/太陽光発電の均等化発電原価の大幅な低減に資する技術の開発/太陽電池パネルのリユース、リサイクルに資する技術の開発 |
| B. 風力発電  利用促進分野 | 風力発電の自立電源化を支援する技術の開発/風力発電機のリプレイス、リパワリング、超大型化に資する技術の開発 |
| C. 未利用エネルギー  利用促進分野 | 低コストかつ分散型のエネルギーハーベスティングに資する技術の開発（風力に限らず、地域内での生産消費、利活用に資するもの。） |
| D. 燃料電池  利用促進分野 | 燃料電池の高度化、低コスト化に資する技術の開発/安定的な水素製造・貯蔵・運搬に資する技術の開発 |
| E. 蓄電池  利用促進分野 | 産業用途を前提とした、低コストで信頼性の高い蓄電池の製造に資する技術の開発/急速充電の高度化及び高効率化に資する技術の開発 |
| F. 再生可能エネルギー熱  利用促進分野 | 再生可能エネルギー熱の普及促進に資する技術の開発/再生可能エネルギー熱のロスの削減及び有効利用に資する技術の開発 |
| G. バイオマス  利用促進分野 | 木質バイオマス材料の安価かつ安定的な供給に資する技術の開発/安価に安定して大量に調達できるバイオマス燃料(木質以外)の開発/メタン発酵設備に関する技術の開発/バイオマス発電設備のエネルギー効率の向上やコスト削減に資する技術の開発/バイオジェット燃料の開発/バイオガスの有効利用及び普及拡大に向けた要素技術開発 |
| H. 再生可能エネルギー  利用促進分野  （A～G の各分野に  属するもの以外） | 変動性再生可能エネルギーの活用に資する、電力需給バランスを経済的に制御するシステム又は要素技術/安全性が高く、かつ、低コストな配電システムの実用化に資する技術の開発/再生可能エネルギーの利用促進を目的とした炭素固定化技術の開発 |